

敦煌本漢籍書誌目録（ペリオ本・書類1）

小助川 貞 次

富山大学人文学部紀要第74号抜刷

2021年2月

敦煌本漢籍書誌目録（ペリオ本・書類1）

小助川 貞 次

大英図書館及びフランス国立図書館には多くの敦煌漢文文献が収蔵されており、目録や複製資料が公刊され、またデジタルアーカイブも公開されている。敦煌漢文文献のうち、漢籍類には、本文校勘の書込、科段、句読、破音、音注の加点が見られるが、このような加点現象に注目した研究はこれまで限られたものしかない。漢文文献に対する加点は、漢字文化圏諸言語（日本語、朝鮮語、ベトナム語）でも見られるものであり共通点も多い。漢字文化圏に広汎に行き渡った漢文文献を各地域・言語でどのように受容したのかを考える上で、テキストの在り方（現存状況、本文系統・注釈系統、本文構成）とともに加点に注目することで見えてくることは多い。稿者はこのような観点から敦煌漢文文献の加点に注目してきたが、本稿ではテキストデータとして処理した加点テキストを添えて書誌目録を作成する。全体で200点を超えるので、今回はフランス国立図書館に収蔵されるペリオ本・書類の22点（P.2516, 2533, 2630, 2643, 2748, 3015, 3169, 3315, 3469, 3605, 3615, 3628, 3670, 3752, 3767, 3871（=2980・2549）, 4033, 4509, 4874, 4900-1, 5543, 5557）のうち、P.2516とP.3670（僚卷）について報告する。なお本稿はJSPS 科研費JP18K00501の助成を受けた研究成果の一部である。

凡例（前稿と同じ）

1. 書誌項目

概ね以下の通りとするが、調査時のメモが無い項目については省略する。

【Pelliot No】、巻篇名、冒頭至末尾、題目、デジタルアーカイブの有無、紙質、修理状態、紙数（総行数）、一紙行数、一行字数、寸法（紙高×紙幅）、界線の有無（界高）、書写年代（加点年代）、本文字体概要、加点概要、調査年月日、備考、参考文献。なお、用例の所在はすべて3桁のアラビア数字で表す。

2. 加点テキスト

2.1 本文

[] 一部分欠損 () 完全欠損（欠損部分が長い場合には…で省略することがある）■ 判読できない漢字 \$ 見消 [] 上書（下字が判読できる場合は〔下字＝上字〕）A / B 傍記（本文Aの右傍にB）+ 補入（補入内容が二字以上の場合は+{ }）& 転倒符

2.2 字体

正字体処理を原則とするが一部異体字を用いたものがある（亂・乱、禮・礼等）。古体字は

通行字体に B を付し、缺筆は通行字体に K を付して示す。

2.3 配行

原本の配行通りに翻字し、原本一行目から行番号を振る。印刷上、折返しが生ずるが、行番号が変わらない限り原本は一行である。割注は《 》で括る（割注内での改行は示さない）。

2.4 紙継

紙継箇所を <1>, <2> のように紙数を添えて示す。

3. 加点

3.1 加点具（色彩）

加点は朱筆でなされることが大半であり、加点テキストでは区別しない。朱点以外の加点具がある場合は注記する。角点については現状の保存状態では確認できていない。

3.2 科段

加点を示す符号があれば @ で示す。

3.3 句読点

本文右下に加点される点は、□・□のように示す。文末と句末の区別は無い。本文下中央に加点される点は、□,□のように示す。名詞句の提示・並列、注釈構文の見出語の表示に使われる。

3.4 破音

破音は、文脈上における漢字の用法が転義であることを示すために漢字の四隅や周辺部分に点発や圈点を加点する手法である。I 型（漢字字画中央）、I' 型（漢字右傍）、I''（漢字左傍下、日本の漢籍訓点資料のみに確認される）、II（左上角から時計回りで平上去入）、III 型（右下角から時計回りで平上去入）、IV（左下角から時計回りで平上去入）、V（左上角から時計回りで平上去入）の 7 種類が知られ、IV 型から後世の四声点が発達する。本稿では IV 型のポジションを基準に、左下角を p（平）、左上角を s（上）、右上角を q（去）、右下角を r（入）とし、該当漢字に続けて示す。IV 型以外は、c（I 型）、o（I' 型）、2p（II 型）、3p（III 型）、5p（V 型）のように示す。なお、陸徳明『經典釈文』（通志堂本）との関係を見るために、被注字（実際の注解箇所）を「k 本文」のように示す（「下同」「注同」によって指示される被注字は、「k' 本文」のように示す）。

4. その他

加点テキストで表しにくいものについては、該当箇所に * を付け、末尾に注記する。

[P.2516] 尚書卷第 5 盤庚中「今其有今罔後」至微子末尾（前接 P.3670）

1. 書誌

内題「尚書盤庚下第十一 尚書 孔氏傳」（030）、「尚書說命上第十二 尚書 孔氏傳」（053）、「尚

書説命中第十三 商書 孔氏傳」（081），「尚書説命下第十三 商書 孔氏傳」（104，「三」は「三」の誤写），「尚書高宗彤日第十五 商書 孔氏傳」（132），「尚書西伯戡黎第十六 商書 孔氏傳」（145），「尚書微子第十七 商書 孔氏傳」（163）。尾題「尚書卷第五」（194）。第 12 紙末尾に本文とは別筆で「野棘知人意回何不早廻既能索纒得待没／洩將來／薛石二書記」の墨書識語あり。Gallica 画像あり。楮紙。裏打補修。12 紙（本文 192 行）。第 1 紙（3-4 行目下半）と第 12 紙（193-197 下半）に鋭利な刃物で切断した欠損あり。一紙 17 行。一行 15 字。27.6 糎× 42.5 糎。薄墨界（界高 22.4 糎），7 世紀末写。本文には古体字が多く用いられるが（76 字種 329 例），字種内で統一されているわけではなく揺れが見られる。缺筆は注文中の民（26 例中 2 例）のみで（経文 18 例はすべて古体字），世・治は缺筆されない。加点は全巻の経文・注文中に詳細に及ぶ。朱点による星点様とゴマ点様の複数の加点が重なっている場合が多く，破音の型（Ⅰ型とⅣ型）から見て，複数回の加点があったことが分かる。2006 年 4 月 19-20 日調査。P.2643（乾元 2（759）識語，8 世紀中期写）と比較可能。（参考文献）石塚晴通 1995（44 頁），小助川貞次 2008（105・107 頁），小助川貞次 2019（23 頁），王重民 1958（11 頁）。

2. 本文

・古体字：76 字種 329 例

其：27/71 有：24/54 罔：21/22 命：4/43 起：3/6 以：14/72 于：13/51 天：14/50 之：10/110 懷：1/2 陳：2/6 民：18/44 暨：5/5 罪：1/22 德：12/30 既：9/13 斷：1/2 亂：7/7 絶：1/9 從：4/6 恭：4/5 遷：3/5 厥：21/21 攸：4/4 懋：2/2 敷：2/2 多：4/9 前：1/3 析：2/2 居：3/13 謂：2/6 動：2/4 篤：1/1 謀：2/8 靈：1/3 長：3/18 簡：1/2 敢：4/9 寶：2/2 得：2/15 使：1/18 陰：1/2 類：1/3 弼：1/2 誨：1/2 礪：1/2 啓：2/2 視：1/6 辟：2/2 率：2/3 時：9/10 終：3/6 疇：1/1 樹：1/1 豫：1/2 省：1/2 私：1/2 賢：3/14 聞：3/6 稽：2/2 遯：4/4 荒：3/4 訓：6/12 和：1/4 始：2/5 衡：1/4 專：1/1 美：1/8 揚：1/1 虞：1/2 摯：2/2 參：1/2 遂：1/7 艸：1/1 躋：1/1 災：6/7（出現順，数値は「古体字 / 総数」）

・缺筆：1 字種 2 例 民：014,139（いずれも割注内）

3. 加點

・句点：563 例

・読点：12 例（027,043,043,044,044,047,062,068,088,143,164,166）

・破音：31 字種（女去勞行道惡責度卸畏比治卑才害弔長相説知爲喪易右王近好孫瘠員難）149 例
[Ⅳ型] 12 字種（女長去卑易勞害行道惡責度）77 例

上声 68（女：001,011,002,002,003,004,005,005,007,007,007,009,010,011,012,012（踊字）,013,013,013（踊字）,014,014,015,016,016,016,017,017,017,019,019,020,021,022,024,028,029,029,035,047,050,050,071,072,074,074,075,100,105,108,109,111,121,127,129,129,160,160,161,161,177 長：k027,k'027,k'046,k123 去：k037 卑：074 易：k088）

去声 8（勞：k066 k'007 害：k'008,k'011 行：k015 道：020 惡：159 責：160）

入声 1 (度 :k155)

[I 型] 23 字種 (卸畏比治卑才害弔長相說知爲喪易右王近好孫瘠員難) 72 例

卸 :k004,005 畏 :004,156 比 :k'011,k'012,035 治 :k018,018,k041,k085,k'087,k'091,k'091,k128,k1
67,k184 卑 :026,k065,k123,127 才 :027,099 害 :039,156 弔 :k043,043 長 :k045,k085,k180,k'181
相 :047,047,054,056,068,152 說 :k054,k'056,k'056,k'066,k'067,k'077,082,099,099,101,103,103,105,111,
113,114,119,120,120,130 知 :060,060(踊字) 爲 :k073 喪 :k094,094 易 :102 右 :126 王 :150,157 近 :151
好 :k170 孫 :176 瘠 :k185 員 :k189 難 :k190

※ k 数字, k' 数字は經典釈文被注字箇所

<1>

- 001: 今其 B 有 B 今罔 B 後女 s 何生在上 《言不徙無後計 . 女 s 何得久生在上 . 禍
002: 將及之也》今予命 B* 女 s\$. 一 . 亡 . 起 Bk 穢以 B 自臭 《我一心命女 s. 々 s 違我 . 是自臭
003: 敗也》恐人 k 倚乃身 *k [于 = 迂] 乃心 《言女 s… 人所…》 (予)
004: k 卸 c 續乃命 B 于 B 天 B. 予豈女 s 畏 c (用奉畜女衆)
005: 《卸 c 迎 * 也 . 言我 * 徙 . 欲迎續女 s 命於天 . 豈以威 k 脅女 s 乎 . 用奉 k' 畜養汝》予念我先神后
006: 之 B*k 勞 q 尔 * 先 . 予丕克羞 * 尔 . 用懷 B 尔然 《言我亦法湯 . 大
007: 能進 *k' 勞 q 女 s . 以義懷女 s 心 . 而女 s 違我 . 是 *\$ 不 \$ 若 \$ 小 \$ 女反先人》失于政 . 陳 B 于茲 . 高后
008: 丕乃崇降罪疾 . 曰 k' 害 q 虐朕民 B 《崇 k 重也今既夫政而陳久於此而
009: 不徙 . 湯必大重下罪疾於我 . 曰何爲虐 *\$ 於我民 . 而不徙乎》女 s 万民 B 乃弗生々 . 暨 B
010: 予一人猷同心 《不進々謀同心徙也》先后丕降 . 与女 s 罪 B
011: 疾 . 曰 *\$ 暨 Bk' 害 q 弗暨 B 朕幼孫有 Bk' 比 c 《言非但罪我 . 亦將罪女 s . 幼孫盤庚
012: 自謂 . k' 比 c 同心也》故有 B 爽德 B . 自上其 B 罰女 s . 々 s 罔 B 能迪 《湯有
013: 明德在天 . 見女 s* 情 . 下罰女 s . 々 s 無能道 . 言無辭也》古我先后 . 既 B 勞乃祖乃
014: 父 《勞之共治民 K 也》女 s 共作我 k' 畜民 B . 女 s 有 Bk 戕 . 則在乃心
015: 《戕殘也 . 女 s 共我治民 . 有殘民之心而不徙 . 是反父祖之 *k 行 q 也》我先后 . 綏乃々祖々
016: 乃々父 . 々 . 乃 k 斷 B 弃女 s . 弗救乃死 《言我先王 . 安女 s 父祖之忠 . 今女 s
017: 不忠 . 女 s 父祖 . 必斷絕弃女 s . 不救女 s 死》茲予有 B 亂 B 政同位 . 具乃貝玉

<2>

- 018: 《乱 k 治 c 也 . 此我有治 c 政之臣 . 同位於父祖 . 不念 k 盡忠 . 但念 *\$ 具貝玉而已 . 言其貪也》乃
祖先父 . 丕乃
019: k 告 k 我高后 . * 曰作丕刑于朕 《女 s 父祖見女 s 貪而不忠 . 必大乃告湯曰 . 作大
020: 刑於我子孫 . 求討不忠之罪也》迪高后 . 丕乃崇降弗祥 《言女 s 父祖 . 開 * 道 q
021: 湯 . 大重下不善 . 忠 & 陳孝之義督之也》烏呼今予告女 s 弗 k 易 《凡所言皆不 k' 易

- 022:之事》永敬大卹.亡胥絕Bk遠《長敬我言.大憂行之.無相与絕k'遠弃廢也》女s
- 023:k分猷念以B相從B.各設中于乃心《羣臣當k'分明相与謀念.和以相從.
- 024:各設中正於女s心也》乃有B弗吉弗迪《不善不道.謂凶人也》顛越弗
- 025:恭B.k暫遇姦宄《顛k隕越墜.不恭不奉上命也.暫遇人而劫奪之.爲姦於內.爲宄於外也》
- 026:我乃k剝k殄滅之B.亡遺育.亡卑ck易種于B茲
- 027:新邑《剝割.育k長s也.不吉之人.當割絕滅之.無遺k'長s其類.無使k'易種於此新邑》往*才
c生
- 028:々.今予將試以B女s遷B.永建乃家《自今已往.進々於善.
- 029:我用以女s徙.長立女s家也鄉大*+夫稱家也》
- 030:尚書盤庚下第十一 尚書 孔氏傳
- 031:盤庚既B遷B.k奠厥B攸B*+居.乃正厥B位《定其所居正郊廟k朝社之位也》
- 032:媿爰有B衆.曰亡戲怠.懋B建大命《安於有衆.戒無戲怠.勉立
- 033:大教》今予其B敷B心腹k腎k腸.歷告尔百姓于
- 034:朕志《布心腹.言輸誠於百官.以告志也》罔B罪尔衆.尔亡共怒協
<3>
- 035:k比k讒言予一人《羣臣前*\$■/有此過.故禁其後也.今我不罪女s.々勿共怒我.合比c凶
人.而*〔■=妄〕言也》
- 036:古我先王.將多B于前B功《言以遷徙.多大前人之功美也》適于B山.
- 037:用k降我凶德B.嘉績于朕邦《徙必依山之險.无城郭之勞.下k去s
- 038:凶惡之德.立嘉功於我國也》今我民B用蕩k析B離居B罔B有B定極
- 039:《水泉沈溺.故蕩k'析B離居.無安定之極.徙以爲之極也》尔謂B朕害c震動B万民B
- 040:以B遷B《言皆不明己本心也》肆上帝.將復我高祖之B德B
- 041:亂B越*+于我家《以徙故天將復湯德.k治c理於我家也》朕及篤B敬.恭B承
- 042:民B命.用永地于新邑《言我當与厚敬之臣.奉承民命.用長居新邑》肆
- 043:予冲人.非廢厥B謀B.k弔c繇靈B《冲童.々人謙也.弔c至.靈善也.非廢
- 044:謂動謀於衆.至用其善也》各非敢韋卜.用宏茲k賁《宏.賁.大也.君臣
- 045:用*謀.不敢違卜.用此遷都大業也》烏呼邦柏師k長Bc.百執事之B人.
- 046:尚皆隱才《國柏二伯.及州取*也.衆k'長s公卿也.言當庶幾相隱*括.共爲政&善》予其B懋B
- 047:簡Bk相c尔.念敬我衆《簡大,*助&相c也.勉大助女s.念敬我衆民也》朕弗肩
- 048:k好貨.敢B恭B生々.鞠人謀B人之B保居B敘欽《肩k任
- 049:也我不任貪.敢奉用進々於善者.人之窮困.能謀安其居者.則我式序而敬之》今我既B羞.k告尔
- 050:于朕志.若否罔B有B弗欽《已進告女s之後.順於女s心.与不當以情告我.無敢
- 051:有不敬也》亡總于貨寶B.生々自庸《無總貨寶B以求位.當進々皆自用功德也》

<4>

052: 式敷 B 民 B 德 B. 永肩一心 《用布示民. 必以德義. 長任一心. 以事君也》

053: 尚書說命上第十二 尚書 孔氏傳

054: 高宗夢得 Bk 說 c 《盤庚弟. 小乙子也. 名武丁. # 得 (德) 高可尊. 故號高宗. 夢得賢 k 相 c. 其名曰 k' 說也》

055: 使 B 百工. 營求諸埜. 得 B 諸傅巖 《使百官以所夢之形象. 經營求

056: 之於外野. 得之於傅巖之谿也》作 k' 說 c 命三篇 《命 k' 說 c 爲 k' 相 c 使攝政也》

057: k' 說命 《始求得而命之也》

058: 王宅憂. k 亮陰 B 三祀 《陰默也居憂信默. 三年不言也》既 B 免喪. 其 B

059: 惟弗言 《除喪猶不言政》羣臣咸諫于王曰烏呼. 知

060: 之 B 日明々 k 哲. 々實作則 《知事則爲明々知 c. 々 c 則能制作法則》天子惟

061: 君万邦百官承式 《天下待命. 百官仰法》王言惟作 * 命. 弗

062: 言. 臣下罔 B 攸 B 稟 * [命 = 令] 《稟受. 令亦命也》王庸作書以 Bk 誥曰.

063: 以 Bk 台正于 B 四方. * \$ 台恐德 B 弗類 B. 茲故弗言 《用臣下怪

064: 之也. 類善也. 我正四方. 恐德不善. 此故弗言》恭 B 默思道. 夢帝 k 賚予良弼 B.

065: 其 B 代予言 《夢天与我輔弼良佐. 將代我言政教也》乃審厥 B 象. k 卑 c 以 B

066: 形. 旁求于天 B 下 《審所夢之人. 刻其形象. 以四方旁求之於民間也》k' 說 c 築傅

067: 巖之桎惟 k 肖 《傅氏之巖. 在虞 k 號之界. 通道所經. 有澗水 k 壞道. 常使胥靡刑人築護此道. k' 說 c 賢

068: 而隱. 代胥靡築之以 k 供食. 肖似. 々所夢之形 * \$ 者也》爰立作相 c. 王置諸其 B 左右

<5>

069: 《於是礼命立以爲佐相. 使在左右也》命之 B 曰 k 朝夕納誨 B. 以 B 輔台德 B 《言當

070: 納諫誨. 直辭以輔我》若金用女作 k 礪 B 《鐵須礪以成利器也》*+ { 若 [■ = 濟] 巨川用汝作舟 k 楫 《度大水待舟楫》 } 若歲大旱.

071: 用女 s 作霖雨 《霖三日雨. 霖以救旱》啓 B 乃心. 沃朕心. 若藥弗

072: k 瞑 k 眩. 厥 B 疾弗 k 瘳 《開女 s 心. 以沃我心. 如服藥必瞑眩極. 其病乃除. 欲其出切言. 以自 k 警也》若

073: k 跣不視 B 地. 厥 B 足用傷 《跣必視地. 足乃無害. 言欲使 k 爲 c 己視聽也》. 惟暨 B 乃

074: 僚. 罔 B 弗同心. 以 B 匡乃 k 辟 B 《与女 s 竝官. 皆當倡率. 無不同心. 以匡正女 s 君也》卑 s

075: 率 B 先王. 迪我高 * 后. 以 B 康兆民 B 《言匡正女 s 君. 使脩先王之道. 蹈成湯之

076: 蹤. 以安天下也》烏呼欽予時 B 命. 其 B 惟有 B 終 B 《敬我是命. 脩其職. 使

077: 有終》k' 說 c 復于王曰. 惟木從 B 繩則正. 后從 B 諫則

078: 聖 《言木以繩直. 君以諫明也》后克聖. 臣弗命其 B 承 《君能受諫. 則臣

- 079: 不待命. 其承意而諫》疇B 敢B 弗祇. 若王之休命《言如此.* 誰敢不敬順王之
- 080: 美* 命. 而諫之也》
- 081: 尚書說命中第十三 商書 孔氏傳
- 082: 惟說c* 命.k 總百官《在冢宰之任也》乃進于王曰烏呼.
- 083: 明王奉若天B 道. 建邦設都《天有日月北斗五星. 廿八k 宿. 皆有尊卑
- 084: 相正之法. 言明k 王奉順此道. 以立國設都也》樹B 后王君公. 承以B 大夫師
- 085: k 長Bc 《言立君臣上下也. 將陳爲k 治c 之本. 故先舉其始也》弗惟逸k 豫B. 惟以亂B 民B
<6>
- 086: 《不使有位者勉豫民上. 言立之主使k' 治民也》惟天B 聰明. 惟聖時B 憲. 惟
- 087: 時B 欽若. 惟民Bk 從B 父《憲法也. 言聖王法天以立教. 臣敬順而奉之. 民以從* 上. 爲k' 治c 也》
- 088: 惟口起B 羞. 惟甲k 冑起B 戎《甲k 鎧. 冑k 兜k 鍪也. 言不可輕教令.k 易s 用兵也》惟
- 089: 衣裳在k 筭. 惟干戈k 省B 厥B 躬《言服不可加非其人. 兵不可任非其* 戈也》
- 090: 王惟戒茲. 允茲克明. 乃罔B 弗休《言王戒慎此四惟之事. 信能
- 091: 明政乃無不美》惟k' 治c 亂B 在庶官《所官得人則k' 治c. 失人則亂也》官不及
- 092: 私Bk 昵. 惟其能《不加私昵. 惟能是官》爵罔B 及惡德B. 惟其B 賢B
- 093: 《言非賢不爵也》慮善以B 動B. 々惟厥B 時B 《非善非時. 不可動也》有B 其B
- 094: 善.k 喪c 厥B 善. 矜其能. 喪c 厥B 功《雖天子亦必讓以得也》惟事
- 095: 々. 乃其B 有B 々備. 々亡患《事々非一事也》亡啓B 寵納侮《開寵
- 096: 非其人. 則納侮之道》亡恥過作非《恥過誤而文之. 遂成大非也》惟厥B 攸B
- 097: 居B 政事惟k 醇《其所居行. 皆如所言. 則王之政事醇k 粹也》k 黷于祭祀. 時B
- 098: 謂B 弗欽. 禮煩則亂B. 事神則難《祭不欲k 數. 々則黷. 々則不敬. 事神禮
- 099: 煩則亂而難行. 高宗之祀. 特豐數近廟. 故說c 因以戒之》王曰旨才c 說c. 乃言惟服
- 100: 《旨美也. 美其所言. 皆可服行也》乃弗良于言. 予罔B 聞B 于行《女s 若
- 101: 不善於所言. 則我無聞於所行之事》說c 拜稽B 首曰. 非知之艱. 行之惟
- 102: 〔難=艱〕《言知之易c. 而行之難. 以勉高宗也》王k 忱弗艱. 允協于先* 王\$. 成德
<7>
- 103: 《王心誠不以行之爲難. 則信合於先王成德也》惟說c 弗言. 有B 厥B 咎《王能行善. 而說c 不
言. 則有其咎罪》
- 104: 尚書說命下第十* 三 商書 孔氏傳
- 105: 王曰來女s 說c.k 台小子舊學于甘般《學先王之道. 甘般殷賢臣.
- 106: 有道德也》既B 乃k 遯B 于荒B 埜. 入宅于河《既學而中廢業. 遯B 居田野. 河洲
- 107: 也. 其父欲使高宗知民之艱苦. 故使居民間也》自河徂亳. 暨B 厥B 終B 罔B 顯《自河
- 108: 往居亳. 與今其終. 故自無顯明之德》尔惟訓B 于朕志《言女s 當教訓於我. 使我〔■=志〕通

達也》

- 109: 若作酒醴. 尔惟k麴k蘖 《酒醴須麴蘖以成. 亦言我+須女s以成也》若作和B
110: k羹. 尔惟k鹽k梅 《鹽鹹梅k酢. 羹須醎醋酢以k和+之也》尔交脩予. 罔B予
111: 弃. 予惟克邁乃訓B 《交非一之義. 邁行也言我能行女s教也》說c曰王*、
112: 人求多B聞B. 時B惟建事. 學于古訓B. 乃有獲
113: 《王者求多聞以立事. 學古訓乃有所得》事弗師古. 以B克永世. 匪*說c、
114: 攸B聞B 《事不法古訓. 而以能長世. 非說c所聞. 言無是道也》惟學遜志. 務時B敏.
115: 厥B修乃來 《學以順志. 務是敏疾. 其德之修乃來》允懷B于茲. 道積
116: 于厥B躬 《信懷此學志. 則道積*+於其身》惟k敦學半. 念終B始B. 典于B
117: 學. 厥B德B修罔B*覺 《敦教也. 教然後知所困. 是學之半也. 終始常念學. 則其德脩. 無能自覺》
118: 監于*先*王成憲. 其B永亡k愆 《愆過也. 視先王成法. 其長無過. 其惟學也》
119: 惟說c式克欽承. 旁招k峻父. 列于B庶位 《言王能志
<8>
120: 學. 說c亦用能敬承王志. 廣招俊父. 使列衆官也》王曰烏呼說c. 四海之內. 咸k仰
121: 朕德B時B乃風 《々教也. 使天下皆仰我德. 是女s教也》股肱惟人. 良臣
122: 惟聖 《手足具乃成人. 有良臣乃成聖》昔先正保衡B. 作我先王 《保衡
123: 伊尹. 作起也正k長s也言先世k'長官之臣》乃曰予弗克k卑c厥B*后惟堯舜.
124: 其B心愧恥. 若k撻于市 《言伊尹不能使其君如*堯舜. 則恥之. 若見撻于市. 故成其
125: 能也》一夫弗*獲則曰時B予之辜 《伊尹見一夫不得其所. 則以爲*己罪也》
126: 右我烈祖. 格于皇天B 《言以此道. 佐右c成湯. 功至大天. 無能及也》尔尚明
127: 保予. 罔亡卑ck阿衡. 專B美B有B商 《女s庶幾明安我事. 則与伊尹同美也》惟
128: 后非賢B弗父. 惟賢B非后弗食 《言君須賢k治c. 賢須君食也》其B尔
129: 克紹乃k辟B于先王永媿民B 《能繼女s君於先王. 長安民. 則女s亦有保衡
130: 之功》說c拜稽B首曰. 敢B對揚B天B子之休命 《對答也答
131: 受美命. 而稱揚之也》
132: 尚書高宗彤日第十五 商書 孔氏傳
133: 高宗祭成湯. 有B飛雉升貞耳而k雉 《耳不聽之異. 雉
134: 鳴也》祖k己訓B諸王 《賢臣也以訓道諫王》作高宗k彤日. 高宗
135: 之訓B 《所以訓也*亡》高宗彤日 《祭之明日又祭. 殷曰彤周日k繹》
136: 高宗彤日越有B雉雉 《於彤日有雉異》祖己曰. 惟先格
<9>
137: 王. 正厥B事 《言至道之王. 遭變異. 正其事. 而異自消》乃訓B于王曰. 惟
138: 天B監下. 典厥B諒 《祖己既言. 遂以道訓諫王. 言天視下民. 以義爲常》降年

- 139: 有B永有B弗永. 非天B夭民Bk中絕命《+言天之下年与民K. 有義者長.
- 140: 無義者不長. 非天欲夭*民. 々自不脩義. 以致絕命也》民B有B弗若德B. 弗聽罪.
- 141: 天B既B孚命. 正厥B德B《不順德. 言無義也. 不服罪. 不改脩也. 天已信命正其德. 謂有
- 142: 永有不永也》乃曰其B如k台《祖己恐王未受其言. 故乃k復曰. 天道其如我所言也》烏
- 143: 呼王司敬民B. 罔B非天B胤典. 祀亡k豐于Bk迺《胤嗣. 昵近
- 144: 也歎以感王. 入其言也王者主民. 當敬民々事. 々无非天所嗣常也祭祀有常. 不當特豐於近. 欲
王因異. 服罪改脩也》
- 145: 尚書西伯戡黎第十六 商書 孔氏傳
- 146: 殷始B周&k咎《咎惡也》周人乘k黎《乘勝也所以見惡也》祖伊恐
- 147: 《祖己後賢臣也》奔告于k受《々紂也音相乱. 帝乙之子嗣立. 暴虐無道也》
- 148: 作西k伯k戡黎《戡亦k勝也》西伯戡黎
- 149: 西伯既B戡黎《k近王k圻之諸侯也在上黨東北也》祖伊恐奔告于
- 150: 王曰天子. 天既B訖我殷命《文k王帥諸侯以事紂. 内秉王c心. 紂不能制.
- 151: 今又克有黎國. 迫近c王圻. 故知天以畢訖殷之王命. 言將化爲周也》格人元龜. 罔B敢B知
- 152: 吉《至人以人事觀殷. 大龜*以神靈考之. 皆無知吉也》非先王弗k相c我後人.
- 153: 惟王淫戲. 用自絕《非先祖不助子孫. 以王淫過戲意. 用自絕於先王也》故天B
<10>
- 154: 弃我. 弗有B康食. 弗虞B天B性. 弗迪率B典《以紂自絕
- 155: 先王. 故天亦弃之. 宗廟不有安食於天*下. 而王不k度r知天命所在. 而所行不蹈脩常法. 言
多罪也》今我民B
- 156: 罔B弗*欲喪. 曰天害c不降畏c. 大命弗*k摯B. 今王
- 157: 其B如台《摯B至也民無不欲k'王之亡. 言天何不下罪誅之. 有大命宜王c者. 何以不至. 王之
凶禍. 其如我所言也》
- 158: 王曰烏呼. 我生弗有B命B在天B《言我生有壽命在天. 民之所言. 豈能
- 159: 害我. 遂*惡q之辭》祖伊反曰烏呼. 乃罪多Bk參B在上. 乃能
- 160: 責命于B天B《反報. 々紂言也. 女s罪惡衆多. 參列於上天. 々誅罰女s. 々能*責q命B於天. 距
天誅也》殷之B
- 161: 即喪. 指乃功. 弗亡戮于B邦《言殷之就亡. 指女s功事所致. 女s不得無
- 162: 死戮於殷國. 必將滅亡.*\$在+立可待也》
- 163: 尚書微子第十七 商書 孔氏傳
- 164: 殷既Bk錯天命《錯乱也》微子作誥父師,k少師《告二師而去紂》
- 165: 微子《微圻内國名. 子爵也爲紂卿士. 去無道也》
- 166: 微子若曰父師, 少師《父師太師. 三公箕子也. 少師孤卿比干也. 微子以紂距誅.

167:知其必亡.順其事而言也》殷其B弗或.亂B正四方《或有也言殷其不有k治c正四方之事.

168:將必亡也》我祖底遂B陳B于B上《言湯致遂其功.陳列於上世也》我用k沈

169:k酌于B酒.用亂B敗厥B德B于B下《我紂也沈k酒酌k饗.敗乱湯德於後世》

170:殷*罔B弗小大k好c艸B竊姦k宄《草野盜竊.又爲姦宄*〔之=於〕外内也》卿

<11>

171:士師々非k度.凡有B辜罪.乃罔B恒獲《六卿典事.相師効爲

172:非法度.皆有辜罪.無秉常*〔德=得〕/得中》小民B方興.相爲敵k讎《卿士既乱.而小民各

173:起一方.共爲讎敵.言不合同》今殷其Bk淪k喪.若涉大水.其B亡津

174:k涯《淪沒也.言殷將沒亡.如涉水無涯際.無所依就也》殷遂喪曰至于今

175:《言遂喪亡於是至於今到不待久也》曰父師少師.我其B發k出狂.魚

176:家k旄.孫c于荒B《我念殷亡.發疾生狂.在家k旄乱.故欲k遯B出於荒野.言愁悶》今尔+亡

177:指告予.顛k隳B若之B何其B《女s无指意告我.殷邦顛k隳濟墜.如之何其

178:救之》父師若曰王子《比干不k見.明心同.k省文也.微子帝乙元子.故曰王子也》天

179:毒降災B.荒B殷邦.方興沈酌于B酒《天生紂爲乱.是天毒下災B

180:四方化紂沈酒.不可如何》乃罔B畏々.k拂其Bk耄k長Bc.舊有B位人《言起

181:沈酒者.上不畏天災B.下不畏賢人.違戾耄老之k'長c.致仕之賢.不用其教.法紂故也》今殷民
B乃k攘

182:k竊k神祇之Bk犧k全牲用.以B容將食亡災B《自來而取

183:曰攘.色純曰犧.體完曰全.牛羊豕曰牲.器實曰用.盜天地宗廟牲用.相容行食之.無災罪之
者.言政乱》降監

184:殷民B用父k讎k斂.召敵k'讎弗怠《下視殷民所用k治c者.皆重賦傷民.斂

185:聚怨讎之道.而又k亟行暴虐.自召敵讎.弗k懈怠》罪合于一.多Bk瘠c罔B詔《言殷人上

186:下有罪.皆合於一紂.故使民多瘠病.而無詔救》商今其B有B災B.我興受其B敗

187:《災B滅在近.我超受敗.言宗室大臣.義不忍也》商其B淪喪.我罔B爲+k臣僕.詔

<12>

188:王子出迪《商其B没*亡.我二人无所爲臣僕.欲以死諫紂也.我教王子出合於道也》我舊

189:k員ck刻子.王子弗出.我乃顛濟《刻病也.我久知子賢.言於帝乙欲立

190:子.帝乙不肯.病子不得立.則宜爲後&殷者.也子今若不出逃k難c.我殷家宗廟.乃隳墜無主
也》自k靖人

191:自獻于先王《各自謀行其志.人々自獻達於先王.以不失道也》我不k顧行

192:遯B《言將与紂俱死也.所執各異.皆歸於仁.明君子*之出/道處默語.非一塗也》

193:

194:*尚書卷第五

（注）

- 002 「女一」：「女」の朱句点を薄墨で見消，「一」の句点は朱墨か。
- 003 「〔于=迂〕」：「于」に「しんによう」を薄墨で追記。
- 005 「也」：句点は朱墨か。
- 005 「徙」：句点は朱墨か。
- 006 「勞」：去声破音は朱の傍に薄墨。
- 006 「先」：句点は朱墨か。
- 006 「尔」：句点は朱墨か。
- 007 「勞」：去声破音は朱墨。
- 007 「不若小女」：「不若小女」字画中に朱見消，薄墨太線で塗抹，さらに「不若小」右傍に朱点及び墨点見消。「不若小」は盤庚上の伝文にあり。
- 009 「於」：朱点見消，さらに薄墨で塗抹。
- 011 「暨B」：右傍墨点見消，字画中朱筆塗抹。
- 013 「情」：句点は朱墨か。
- 015 「行」：去声破音は褐色で右辺中央にあり → cf.020 「道」と同じ形態。
- 018 「具」：墨擦消の上を朱塗抹。
- 019 「粵」：薄朱読点あるか。
- 020 「道」：去声破音は褐色で右辺中央にあり → cf.015 「行」と同じ形態。
- 027 「才」：破音（I型）は褐色。
- 029 「夫」：朱筆補入。
- 031 「居」：左辺中央朱点は校符か。P.2643は「居」右傍に褐色傍線あり。
- 035 「\$■/有」：某字を朱墨塗抹し右傍に墨書「有」。
- 035 「妄」：某字下半を「女」に重書訂正。
- 041 「于」：朱筆補入。
- 045 「謀」：句点は朱墨か。
- 046 「也」：句点は朱墨か。
- 046 「括」：句点は朱墨か。
- 047 「尔」：句点は朱墨か。
- 047 「相」：朱墨転倒符。
- 047 「女」：破音上声は朱墨か。
- 061 「命」：朱句点擦消か。
- 062 「令」：「命」を雌黄で訂正。
- 063 「台」：朱塗抹。

- 068 「者」:右傍に褐色二点の見消符。
070 「若…楫」:墨書補入。
075 「后」:句点は朱墨か。
079 「誰敢」「之」:墨汚あり。
080 「命」:句点は朱墨か。
082 「命」:句点は褐色。
087 「上」:句点は擦消。
089 「戈」:原本作「ㄉ」。
102 「王」:朱句点擦消か。
104 「三」:「三(四)」の誤。
111 「、」:或は墨汚か。
113 「説」:下「、」は行末埋字。
116 「於」:朱墨補入。
117 「覺」:右下墨点あり。
118 「先」:右下墨汚あり。
118 「王」:朱句点を擦消。
123 「后」:右下に雌黄あり。句点を塗抹するか。
124 「堯」:右下句点を雌黄で塗抹。
125 「獲」:朱句点あるか。
125 「己」:「巳」を「己」に訂正するか。
135 「亡」:下字を擦消して上書するか。
140 「也」:朱句点二つあり。
152 「以」:左傍朱縦線あり。
155 「天」:朱句点二つあり。
156 「欲」:入声位置に朱点あるか。
156 「摯B」:「手」原本作「女」。注同じ。
159 「惡」:去声破音は薄朱。
160 「責」:去声破音は薄朱。
162 「\$在+立」:某字に上書訂正し、さらに右下に「立」を補入。
170 「岡」:右上に薄朱点あり。
170 「〔之=於〕」:「之」を薄墨「於」重書。
172 「〔徳=得〕/得」:「徳」を「得」に重書補訂しさらに右上に「得」を並記。
179 「得」:「徳」を「得」に訂正し、全体を墨塗抹。改めて右傍に「得」。

188「亡」:朱句点は二つあり。

192「之出/道」:「之」は某字を擦消し上書。

194「尚書卷第五」:3行の空行を夾み,「野棘知人意回河不早廻既能掌絶得待没/洩將來/薛石二書記」の墨書識語あり。

【P.3670】尚書卷第5 盤庚上「告朕而胥動以」至盤庚中「乃災女誕勸憂」（後接 P.2516）

1. 書誌

内題「尚書盤庚中第十 商書 孔氏傳」(023)。Gallica 画像あり。楮紙。表面全面絹張,裏打補修。3紙(本文43行)。第1紙(1-9行目下半)と第2紙(21-23行目下半)に欠損あり(第2紙の欠損は鋭利な刃物で切断か)。一紙17行。一行15字。27.6 糎×42.5 糎。薄墨界(界高22.4 糎),7世紀末写。表面は全面絹張で補修されており, Gallica 画像では加点の確認に困難を伴う。本文には古体字が多く用いられるが(37字種88例),字種内で統一されているわけではなく揺れが見られる。缺筆は確認できない(経文の「民」5例はすべて古体字)。加点は全巻の経文・注文に詳細に及ぶ。朱点による星点様とゴマ点様の複数の加点が重なっている場合が多く,破音の型(I型とIV型)から見て,複数次の加点があったことが分かる。2006年4月19-20日調査。P.2643(乾元2(759)識語,8世紀中期写)と比較可能。(参考文献)石塚晴通1995(50頁),小助川貞次2008(105頁),小助川貞次2019(23頁),王重民1958(16頁)。

2. 本文

・古体字:37字種88例

動:4/8 以:7/17 其:6/13 猶:1/1 有:7/12 敢:2/4 掩:3/3 享:2/3 從:2/6 與:1/1 之:9/35 德:2/4 幼:2/2 于:4/6 居:1/4 罪:1/3 厥:8/8 恭:1/1 齊:1/2 度:1/2 民:5/11 遷:2/5 率:1/1 前:1/2 罔:1/1 天:1/5 時:1/3 懷:1/2 攸:2/2 視:1/1 聞:1/2 困:1/2 濟:1/1 稽:1/1 謀:1/5 長:1/4 災:1/5 (出現順,数値は「古体字/総数」)

・缺筆:なし(古体字「民」5例)

3. 加点

・句点:107例

・読点:0例

・破音:12字種(女卑與比中亡易去造害近載)45例

[IV型]4字種(女卑與比)33例

上声31(女:002,004,005,006,008,009,012,013,018,020,032,033,033,033,034,034,034,034,034,035,036,037,038,039,040,041,042,043,043,043 卑:k033)

去声2(與:k010 比:k034)

[I型]9字種(中亡易去造害比近載)12例

中:k013 亡:013,027 易:k014 去:k017 造:k026,k'026 害:k032,k'041 比:k'034 近:k034 載:k040
※k数字, k'数字は經典积文被注字箇所

<1>

- 001: 告朕. 而胥動B以B浮言…《…
002: 上. 而相恐動以浮言不徙. 恐女s沈溺於衆. 有禍害也》若…
003: k嚮尔其B猶B可k撲滅《…》
004: 則惟女s衆. 自作弗k靖…《…
005: 也是女s自爲非謀所致也》k遲k任有B言[曰]…
006: 新《遲任古賢也. 言人貴舊. 器貴新. 女s不徙. 不貴舊也》古[我]…
007: 父. 胥及逸勤. 予敢B動B用非罰《…勞逸. 子孫…
008: 之. 我豈敢動用非常之罰魯女s也》世k選尔勞. 予弗k掩B尔善《選k[數]也. 言
009: 我世々數女s功勤. 不掩B蔽女善. 是我*忠於汝也》茲予大享B于先王. 尔祖

<2>

- 010: 其B從Bk與q享B之B《古者天子録功臣配食於廟. 大享k蒸嘗也. 此所以不掩B善》作福
011: 作災. 予亦弗敢B動B用非德B《善自作福. 惡自作災. 我豈敢動用
012: 非罰加汝. 非德賞汝乎. 從汝善惡而報之也》予告女s于B難. 若k射之B有B
013: 志《告汝行事之難. 當如射之有所k准志. 心k中c所志乃善》女s亡老k侮成人. 亡c弱
014: 孤有B幼B《不用老成人之言. 是老侮之也. 不徙則孤幼B受害. 是弱k易c之也》各k長于B
厥B
015: 居B. 勉出乃力. 聽余一人之B作猷《盤庚勅臣下. 各思長於其
016: 居. 勉盡心出力. 聽從遷徙之謀》亡有B遠尔. 用罪B伐厥B死. 用德B
017: 彰厥B善《言遠近待之如一. 罪以懲之. [使]勿犯也. 伐k去c其B死道德以明之. 使勸慕競爲
善*\$者也》
018: 邦之Bk臧. 惟女s衆《有善則衆臣之功也》邦之B弗臧. 惟予
019: 一人有Bk佚罰《佚失也. 是已失政之罰. 罪己之義》凡尔衆. 其B惟致告
020: 《致我誠告女s衆》自今至于後日. 各恭B尔事. 齊B乃位.
021: k度B乃口《奉其職事. 正齊其位以法度居口. 勿浮言》罰[及][尔]（身弗可悔）
022: 《不從我謀. 罰以及身. 雖悔可及乎》
023: 尚書盤庚中第十 [商][書] [孔][氏][傳]
024: 盤庚作惟涉河. 以民B遷B《爲此南渡河之法. 用民徙也》乃k話
025: 民B之B弗率B.k誕告用k亶其B有B衆《話善言也. 民不脩教發善言.
026: 大告用誠於其衆也》咸k造c勿k褻在王庭《k'造c至也. 衆皆至王庭. 無褻慢》盤

<3>

- 027: 庚乃登進厥B民B《外進命使前也》曰明聽朕言. 亡c荒失
- 028: 朕命《荒廢》烏呼古我前B后. 罔B弗惟民B之B承
- 029: 《言我先世賢君. 無不承安民而恤之也》保后胥戚.k鮮以B弗浮于B天B
- 030: 時B《民亦安君之政. 相与憂行君命. 浮行也少以不行於天時者. 言皆行天時也》殷降大虐
- 031: 先王弗懷B《我殷家於天降大災. 則先王不思故居. 而行徙也》厥B攸B作視B
- 032: 民B利用遷B《其所*爲視民有利. 則用徙也》女sk害c弗念我古后之B
- 033: 聞B《古君先王也. 之間謂遷事也》承女sk卑s女s. 惟憲康k共. 非女s
- 034: 有Bk咎k比q于B罰《今我法先王. 惟民之承. 故承女s使女s徙. 惟与女s共憲安. 非謂女s有
惡徙女s.k令k'比ck近c殃
- 035: 罰也》予若k籲懷B茲邑. 亦惟女s故. 以B丕從B厥B志
- 036: 《言我順和懷此新邑. 欲利女*故.&衆大從其志而徙之也》今予將[試][以B][女s][遷]. 安定
- 037: 厥B邦《試用》女s弗憂朕心之B攸B困B《所困不順上命》乃咸大
- 038: 弗宣乃心欽念以Bk忱. 動B予一人《女s皆大弗布腹心. 敬念以誠. 感
- 039: 動我. 是不盡忠》尔惟自k鞠自苦《鞠窮也. 言女s爲臣不忠. 自取窮苦也》若乘
- 040: 舟女s弗濟B.k臭厥Bk載c《言不徙之害. 如舟在水流&中不渡. 臭敗其所載物*\$者也》尔
- 041: 忱弗k屬. 惟胥以Bk沈. 弗其B或稽B. 自怒k'害ck瘳《女s忠
- 042: 誠不k'屬逮+於古. 苟不欲徙. 相与沈溺. 不考之先王. 禍至自怒. 何瘳差乎》女s弗謀B長B. 以
B思
- 043: 乃災B女s[誕]勸憂《女s不謀久長之計. 思女s不徙之災. [苟][欲][不][徙]. [是][大][勸][憂]
[之][道][也]》

(以下, P.2516に続く)

(注)

- 009 「忠」: 「中」に墨「心」を追記。
- 017 「者」: 右傍朱二点で見消。
- 032 「爲」: 右下に朱点あり。
- 036 「故衆」: 墨転倒符の上に朱句点。
- 040 「者」: 墨塗抹。

参考文献

- 石塚晴通 1995：声点の起源（築島裕編『日本漢字音史論輯』，汲古書院）
小助川貞次 2008：敦煌加點本を巡る研究課題（『富山大学人文学部紀要』第 49 号）
小助川貞次 2019：敦煌本漢籍における加點の問題について（『訓点語と訓点資料』第 143 輯）
王重民 1958：敦煌古籍斠録（商務印書館）